

自施設実習誓約書・承諾書の記載方法

<自施設実習誓約書と承諾書の位置づけ>

認知症介護実践者研修（以下、実践者研修）では、認知症の人に協力していただき、自施設実習（以下、実習）を行います。実習では、認知症の人への適切なアセスメントとケアの実践をとおして、実践者としての役割の理解を深め、その技能を磨くことを目的としており、実習には認知症の人ご本人の協力が欠かせません。

研修受講生（以下、受講生）が認知症の人ご本人に対して、実践者研修・実習について説明し、注意事項を遵守することを誓約する書類として『自施設実習誓約書』があり、認知症の人に実習の協力を承諾していただくための書類として『自施設実習承諾書』があります。

<自施設実習誓約書・承諾書作成の流れ（実践者研修初日までに実施しておく内容）>

- ①受講生が所属する事業所を利用されている方で、アセスメント・実践計画を検討したい実習協力者（認知症の人）2名を決め、事業所の上司等に対して承諾を得ておく。
- ②実習協力者2名それぞれに説明するため、自施設実習誓約書・承諾書は各2部（合計4枚）を印刷し、下記③～⑦の手順で2名分作成する。
- ③自施設実習誓約書の上部下線空欄内（『____さんに、お願い…』の下線部）に、実習協力者の方の氏名を記載し、下部に誓約日・受講生所属事業所名・受講生氏名を記載する。
- ④自施設実習承諾書の上部下線空欄内（『私は、____さんが…』の下線部）に、受講生氏名を記載する。
- ⑤実習協力者の方に自施設実習誓約書を使って実習の説明を行い、協力を依頼する。その際に、明らかに拒否の意思表示をされた方については実習協力者とせず、代わりとなる他の方を検討する。一度の説明で実習協力者の方の意思確認をすることが難しい場合については、複数回実施して判断する。
- ⑥同意が得られた方については、自施設実習承諾書に住所・氏名を記載していただく。自筆が困難な場合は、代筆も可とするが、代筆の場合は代筆者の氏名を明記する。
- ⑦実習協力者の主たる介護者（ご家族等）にも、実習について説明し、自施設実習承諾書に氏名と続柄について記載していただく。
- ⑧自施設実習誓約書は、実習協力者ないしは実習協力者の主たる介護者に渡す。
- ⑨自施設実習承諾書は、受講生が保管する。

<注意事項>

- 実習協力者の意思や気持ちに十分配慮しながら、協力をお願いするようにしてください。
- 自施設実習承諾書・誓約書の作成過程においても、事業所の上司等に相談を行いながら、個人情報保護や実習協力者の権利に配慮してください。

自施設実習誓約書

<研修受講生記入用>

私は、認知症介護実践者研修の自施設実習において、_____さん
には、実習に関するご協力および情報提供のご提供にあたり、以下のことを
遵守し、また、実習後においても同様に遵守することを誓約いたします。

1. この実習は、認知症の人への適切なアセスメント及びケアの実践が目的です
ので、それと関係しないことは実施しません。
2. 実習で得た情報は、実習及び研修以外の目的には使用しません。
3. 実習で得た情報をもとに、研修内でグループ討議を行いますが、討議の際
に使用する文書には、個人名や個人が特定できる内容は記載しません。
4. 私が知りたいことであっても、あなたの意に添わないことは聞きません。
5. 実習及び研修で、あなたに不利益になるようなことはいたしません。

誓約日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

受講生所属事業所名 _____

受講生氏名 _____

自施設実習承諾書

<実習協力者記入用>

私は、認知症介護実践者研修の自施設実習において、_____さんの「自施設実習誓約書」を受理し、実習に関する協力および情報提供することを承諾します。

承諾日 _____年 _____月 _____日

実習協力者住所 _____

実習協力者氏名 _____

実習協力者の主たる介護者氏名 _____ (続柄)